

日中国交正常化40周年記念講演会

日中友好交流の象徴として、歴史にその名を残す中国革命の父・孫文と熊本県荒尾市出身の宮崎滔天。日中国交正常化40周年を記念して、「孫文と宮崎兄弟」や「日本と中国」をテーマに、昨年10月に「孫文」(角川書店)を執筆した国際政治学者の舛添要一氏による講演会を開催します。



【写真】辛亥革命後の1913年3月、国賓として来日した孫文(中央左)は、17年ぶりに荒尾の宮崎家を訪れ、終生の友である宮崎滔天(中央右)と再会した。

日時:平成**24年10月13日(土) 14:00**開始
(13:30 開場/16:30 終了予定)

場所:熊本大学工学部百周年記念館【300人収容】
(黒髪南キャンパス内)※駐車場有

入場:無料

事前申込制

【プログラム】

- 第一部 宮崎兄弟顕彰DVD上映
- 第二部 中学生上海市友好交流派遣報告会
- 第三部 **舛添要一氏講演**

【お申込み方法】

①氏名 ②住所 ③電話番号 ④年齢 ⑤職業 ⑥日中国交正常化40周年記念講演会観覧希望、以上の6項目を明記の上、ハガキ・FAX・Eメールにてお申込みください。定員になり次第、受付を終了します。

荒尾市役所総務部政策企画課 〒864-8686 荒尾市宮内出目390番地
TEL:0968-63-1274 FAX:0968-64-0940
E-mail:kikaku@city.arao.lg.jp

【主催】荒尾市日中友好促進会議、荒尾市議会日中友好促進議員連盟
【後援】高等教育コンソーシアム熊本、熊本県日中協会、熊本日日新聞社



舛添 要一

1948年北九州市生まれ。舛添政治経済研究所所長。参議院議員(元厚生労働大臣)。メディアに多数出演するほか、昨年10月には「孫文」(角川書店)を上梓した。

演題
「日本と中国の
未来を担う若人へ」



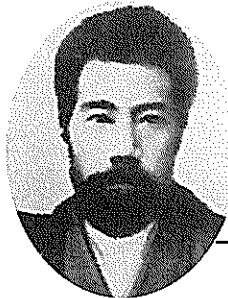
【熊本大学黒髪南キャンパス】

日中友好交流の象徴 — 孫文と宮崎兄弟 —

1800年代終わりから1900年代初め、アジアは西欧列強諸国の圧力にさらされていた。中国大陸では、満州族率いる清朝が弱体化する中、中国・アジアのあるべき理想を高らかに謳いあげた革命家・孫文が登場する。孫文は1895年「広州起義」以降、不屈の闘志で幾度となく蜂起を繰り返し、1897年に横浜で宮崎滔天と出会う。滔天は自身の半生を綴った「三十三年之夢」で孫文を紹介し、黄興をはじめ他の革命家と結び付け、1905年に中国同盟会が成立する。運命的な出会いから1911年辛亥革命へと至る道程は、アジアのあるべき姿を共通理念とする日本と中国の男達の友情物語でもあった。

滔天、孫文を初めて知る

1897年6月、民蔵は滞在先の米国で読んだ英字新聞で孫文を知り、その記事を荒尾に送り、滔天に孫文の存在を伝えた。その後も、米国から、孫文との連携を強く滔天に説く手紙を出した。



六男
民蔵 たみぞう
(1865~1928)
土地復権を生涯の使命とした哲人

民蔵、孫文の民生主義に影響を与える

民蔵の「土地は人類共通の財産」という思想は、孫文の民生主義に少なからず影響を与えた。滔天と共に孫文を支援し続け、孫文の最後の病床を見舞うことを許された四人の日本人の一人である。



八男
滔天 とうてん
(1871~1922)
孫文を助け、革命に挺身した侠の人

滔天、孫文と初めて会う

1896年の彌蔵の死後、滔天は、横浜で彌蔵を世話していた陳少白の紹介で、1897年9月、孫文と横浜で出会うこととなる。

滔天は、妻の実家である前田家(玉名市天水町)や兄民蔵などの協力を得て、孫文の同志として革命に生涯をささげた。孫文は、日本国内での資金・武器調達に関する全権委任状を滔天に与えた。

彌蔵の行動が滔天と孫文を結び付ける



七男
彌蔵 やぞう
(1867~1896)
理想の国を中国革命にみた思想家

彌蔵は、中国での革命から全アジアの自由民権革命を目指し、まずは中国人になりきろうとして、辮髪を結び、名前を管仲甫と改め、横浜の中国商館で働いた。そこで、孫文と同志である陳少白と出会ったが、志半ばの29歳で病没する。



孫文 そんぶん
(1866~1925)

能本県指定史跡 宮崎兄弟の生家

宮崎兄弟資料館



宮崎兄弟の生家施設 荒尾市荒尾949-1 TEL.0968(63)2595

孫文が訪れた当時の雰囲気が残る生家。施設内には、宮崎兄弟に関する資料や孫文直筆の扁額などを展示する資料館を併設。 <資料館のみ有料>

- ◆開館時間 午前9時30分から午後5時まで
(ただし、資料館への入館は午後4時30分まで)
- ◆資料館観覧料
小・中学生 100円(団体割引20名以上80円)
一般(高校生以上) 210円(団体割引20名以上160円)
- ◆休館日 月曜日(その日が祝日にあたるときはその翌日)
年末年始(12月29日から1月3日まで)

JR
荒尾駅下車 徒歩 15分
タクシー 5分

インターから車で
南関インター 30分
菊水インター 30分

10/13 (土) 日中国交正常化 40 周年記念講演会終了後、講師を囲んで、

茶話会

を行います

講演会の感想など、講師をはじめ、講演会に参加された方々と、一期一会のひとときを楽しみましょう!

軽食と飲み物をご用意していますので、お気軽にご参加ください。(事前申込制)

【日 時】<講演会当日>午後 5 時開始 (予定)

※講演会の都合により若干の変更があります。

【場 所】熊本大学 黒髪南キャンパス内

「FORICO」(福利施設食堂)

【参加料】講演会出席学生 無料

その他一般 1,500円

※会費は当日受付にてお支払いください。

【主 催】荒尾市日中友好促進会議、

荒尾市議会日中友好促進議員連盟



[講師] 舛添要一氏

講演会

日時: 10月13日(土)午後2時開始

(午後4時30分終了予定)

場所: 熊本大学工学部百周年記念館

入場: 無料(事前申込制)

【熊本大学黒髪南地区キャンパス】

33 FORICO (茶話会会場)

21 工学部百周年記念館 (講演会会場)

